



基礎情報

患者氏名	尾中 剛 おなか・つよし 〇〇年10月18日 48歳 男	入院期間	入院日：—年 〇 月 △ 日 退院日： 年 月 日(日間)		
職業	IT系技術職	血液型	O型(Rh+)	保険	国保
感染症	なし	アレルギー	薬(なし) 食物(なし) その他(花粉症)		
入院時病名	直腸がん	主訴	特になし		
既往歴	特になし(高血糖と脂質異常傾向と指摘されたことはある)				
家族歴	- 父：心筋梗塞にて5年前に死亡 - 母：高血圧にて内服加療中 - キーパーソンは妻(佐和子)				
現病歴	半年前、会社の健康診断で便潜血を指摘され受診する。精査の結果、直腸がん(TNM分類：T3N1M0、ステージⅢa)と診断され手術目的で入院となった。				
精神的背景	- 宗教：なし - 病気について(本人)：「やっぱり、食生活が問題ですかね。退院したら気をつけないと。人工肛門の生活が心配です。仕事に支障が出ないかな」 - 病気について(家族：妻)：「がんが見つかって手術ができるのはよいことなんですけど、人工肛門って見たこともないので心配です」				
社会・経済的背景	- 妻：事務(夫と同じ会社) - 本人：IT企業の技術職				
病気についての説明内容・理解度	- 医師より：「直腸がんです。手術でがんと周囲のリンパを少し切除します。肛門に近いところなので、切除するためには人工肛門を造設しないといけません。手術のためにしっかり禁煙してください」 - 本人：「わかりました。がんばります」				
治療計画	観血的直腸切除術、人工肛門造設術				
		身体およびADLの状況 身長(173)cm 体重(85)kg BMI(28.4) 喫煙：しない・ する ・していた BI(800) 食事：● 3回/日 規則・ 不規則 ● 好きな物 ヒレステーキ ● 飲酒 毎日(赤ワイングラス3杯) ● 義歯 あり・ なし ● 摂取状況 自力 ・介助() 排泄：● 排尿 4～5回/日 ● 排便 1回/(3～5日) 薬使用 なし ● 排泄動作 自立 移動：● 車いす使用 あり・ なし ● 立位動作 自立 ● 移乗動作 自立 清潔：● 整容 自立 ● 更衣 自立 ● 入浴 自立 ● 洗髪 自立 休息：● 睡眠薬の使用 あり・ なし 身体障害の有無 視力：近眼 聴力：無 言語：普通 認知：普通 介護認定： なし ・あり()			

平常時のVS

体温：36.6℃ 血圧：132/72mmHg 脈拍：70回/分(整) 呼吸数：12回/分 SpO2：98%



消化器がんのクリニカルパス

日時	外来	入院日	手術前日	手術当日		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目
	/	○/△～	/	/	/	/	○/×	/	/	/	/
治療・処置		- 絆創膏 - 消毒薬のアレルギーテスト	- 除毛 15時下剤内服	手術前 (6時・9時)さる洗腸 - 基礎麻酔薬の注射 - 点滴 - 胃管を入れる	手術後 - ガーゼ交換 - 鎮痛剤の使用 - 硬膜外チューブ(鎮痛剤)						
検査	- 採血 - 採尿 - 心電図 - 胃透視 - 呼吸機能 - 胸部・腹部X線 - 胃内視鏡 - CT - 超音波				胸部・腹部X線(ベッド上)			- 痛みが強い場合は追加 - 貯留液が100mL以下になり、おならが出たら抜く	抜去		
呼吸・体温・循環		検温：1日1回	検温：朝6時	検温：朝6時	- 看護師の頻回の訪室 - 深呼吸・排痰の励行	検温：4時間ごと	検温：6時間ごと	検温：6時、日中、18時		検温：日中1回	
食事	特に制限なし	- 昼：常食 - 夕：流動食 21時より絶飲									
排泄				尿管の挿入							
活動				ベッド上安静		看護師の介助で立位まで	トイレ歩行まで	尿管の抜去。その後は排尿ごとに蓄尿袋にためる			
清潔		隔日入浴	看護師による清拭(隔日)	洗髪は随時実施					できる範囲内で病棟内～病棟外へ		
説明・指導	看護師による入院・手術準備の説明	- 必要時、呼吸訓練(深呼吸、ネブライザー) - 主治医による「手術・検査・治療の説明書同意書」「入院診療計画書」についての説明 - 麻酔科医による麻酔についての説明 - 看護師による手術前後の処置や経過についての説明	術後に主治医による家族に対する手術内容の説明							栄養士による食事指導	
目標	- 手術の概要、入院中のスケジュールが理解できる - 疾患を受け入れ、不安を表出することができる	精神的・身体的に手術に臨む準備が整う		胃痛・疼痛でき、離床できる		がコントロールに向かうことが	- 積極的に離床が進められる - 精神的・身体的に食事を開始する準備ができる - ストーマの自己管理ができる				

今回の受け持ち日

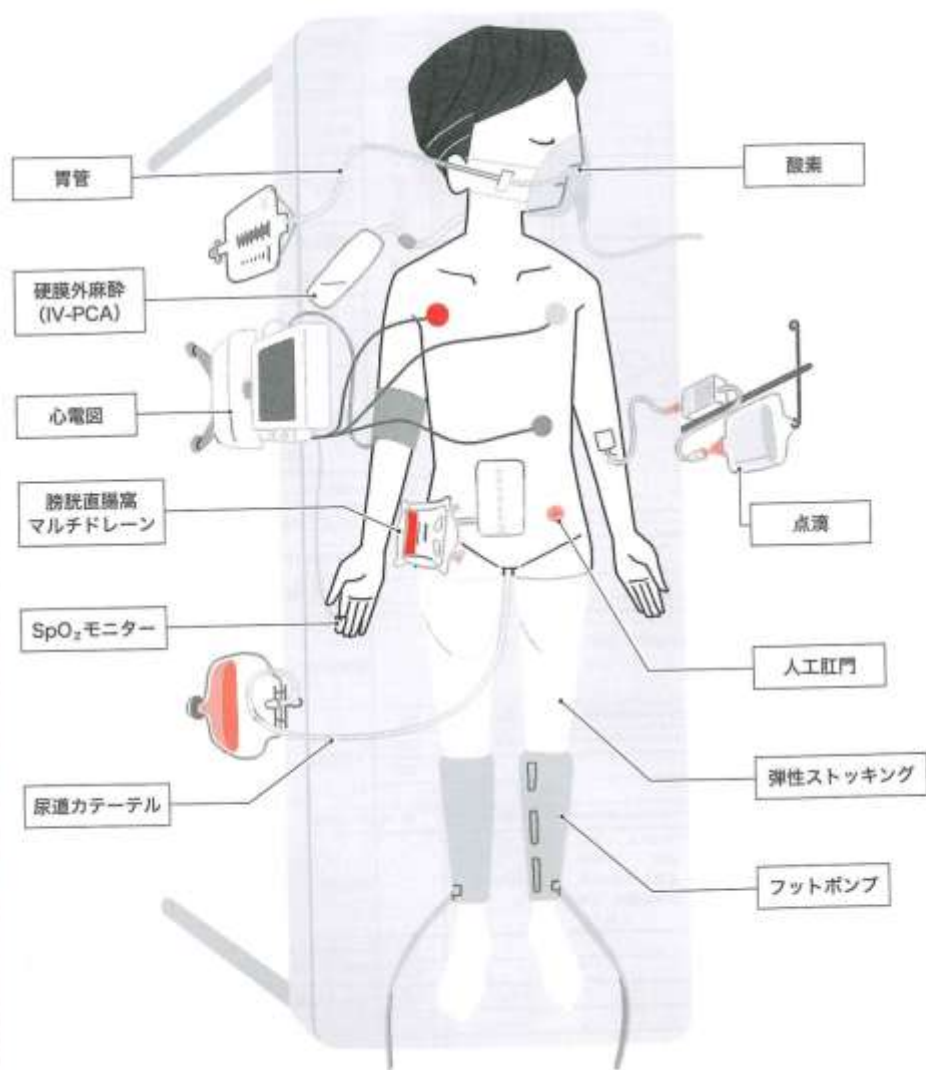


手術経過記録

患者名：尾中 剛		時間	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	15:30	チェック	退室時バイタルサイン		
年齢：45歳 月	性別：(男)・女	体温	36.3	36.0	36.2	35.9	35.8	35.8	35.9	35.8	ガーゼカウント 器械カウント	意識レベル：1-1 半覚醒		
病名：直腸がん		呼吸回数(回/分) / SpO ₂ (%)	12/98	/96	/97	/97	/98	/96	/97	16/97		血圧：118/70mmHg	心拍数：68bpm	
術式：直腸切断術(Miles手術)。 人工肛門造設術		血圧/心拍数(※)										体温：35.8℃	呼吸回数：16回/分	
主治医：藤野 麻酔科医：増井												SpO ₂ ：97%		
看護師①：山川	看護師②：海野											総輸液量 1,900mL		
入室 9:30	退室 ~ 15:30											総輸血量 mL		
麻酔時間 9:40~15:00 手術時間 10:28~14:50												RCC 単位 FFP 単位		
入室時バイタルサイン 意識レベル：清明												PC 単位 自己血 mL		
血圧：132/75mmHg	心拍数：68bpm											ガーゼ 85g		
体温：36.3℃	呼吸回数：12回/分 SpO ₂ ：96%											出血 吸引 100mL		
創部・チューブ・ライン・ドレイン類												ドレイン 10mL		
		麻注ポンプ	①レミフェンタニル 9mL/h								給量	尿量 680mL		
			②ロクロニウム 2mL/h								45	申し送り事項 ●半覚醒で帰室。意識レベル確認 ●BMO254、砕石位による皮膚トラブルに注意 ●B803、増量多い、呼吸器合併症に注意する		
											9			
吸入 アスフルラン4%														
使用薬剤	①プロポフォール10mL(80mg) ②ロクロニウム 5mL(50g)				⑤フェンタニル 2mL ⑥ブリアディオン200mg									
静脈ライン	V1 ソルデム3A残200ハキ ソルアセトF1 ①				②				残200 800					
	V2 ポルベン①				セフメタゾールNaキット100				② ロック 1,000					
									100					
硬膜IV-PCA	0.165%ボブスカイン270mL								250 20					
手術経過	サインOK V-L挿入 硬膜外(Th11-12)OK A-L・尿道カテーテル挿入	導入 尿管OK 22cm固定	執刀 腸管露出 リンパ節剥離	動・静脈結紮 腸管切開	腹腔内洗浄 腸管引き上げ ドレイン挿入 血算・生化①				ガーゼカウント 器械カウント OK 開創・ストーマ縫合 レントゲン撮影				リバーズ 尿管 実数あり BGA良好	
出血 G					40 20				20 80					
吸引					30 20				50 100					
ドレイン①									10 10					
ドレイン②														
ドレイン③														
尿量					180 100 100				90 100 110 ハキ 680					
体位：砕石位												検体 痔瘻(切除組織)		
												検査 血算・生化①		
												膀胱ストッキング (両足) 右・左		
												開気圧空気圧迫法 (有)・無		



帰室後の状況



指示用紙

尾中 剛 ○○年10月18日(48歳)

☒ 男 ☐ 女

主治医 堀野

受け持ち看護師 古川

入院時 身長(173)cm / 体重(85)kg

日時		指示内容
○/×	点滴	乳酸リンゲル 500mL 1本/日 60mL/時 終了後 ビーフリッド® 500mL 60mL/時持続 抗生剤 セフメタゾールNa キット1g 4回/日 H ₂ ブロッカー+生理食塩液50mL 2回/日
○/×	内服	禁飲食
○/×	酸素	SpO ₂ <90%で酸素流量増量(ベンチュリーマスクにて)、12Lでドクターコール
○/△	血圧	収縮期血圧(SBP)>170mmHg/<90mmHgのときドクターコール
○/△	安静度	病棟内フリー
○/×	発熱	体温38.0℃以上でクーリング+ドクターコール
○/△	心拍数	心拍数(HR)>140bpm/<50bpmのときドクターコール

■特殊指示

日時		指示内容
○/△	術後訓練	術前呼吸訓練 3回/日 ※術後も継続してください
○/△	不眠時	ドクターコール
○/×	疼痛時	IV-PCA 1 Push (ロックアウト10分)効果がないときドクターコール



本日の血液検査結果

患者氏名：尾中 剛

項目名	基準値(成人)	入院時	手術当日	術後1日目	単位
白血球数(WBC)	4,000~8,000	6,800	7,200	8,800	/ μ L
赤血球数(RBC)	430~570(男性)	650	580	550	10^4 / μ L
ヘモグロビン量(Hb)	13.5~17.5(男性)	15.8	14.8	12.2	g/dL
ヘマトクリット値(Ht)	39~52(男性)	40	38	32	%
血小板数(PLT)	15~34	150	132	130	10^4 / μ L
好中球	40~60	32	31	68	%
好酸球	3~5	0	1	2.0	%
好塩基球	0~2	0.2	0.3	1.0	%
リンパ球	30~45	19	19	24	%
単球	3~6	2.5	2.0	2.8	%
プロトロンビン時間(PT)	9~15	14	12	14	秒
PT-INR		0.58	0.65		
活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	25~45	25	26	35	秒
Dダイマー(LPIA)	1.0		0.5	1.8	μ g/mL
アンチトロンビンⅢ(ATⅢ)	81~123	98	102	88	%
総タンパク(TP)	6.7~8.3	7.8	7.5	6.8	g/dL
血清アルブミン(Alb)	3.8~5.3	5.5	5.3	5.5	g/dL
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)	10~40	42	38	40	U/L
アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)	5~45	48	54	56	U/L
γ -グルタミルトランスペプチダーゼ(γ -GT)	10~50(男性)	46	44		U/L
総ビリルビン(T-Bil)	0.2~1.0	0.89	0.88	1.35	mg/dL
直接ビリルビン(D-Bil)	0.0~0.3	0.56	0.58	0.88	mg/dL
アミラーゼ(AMY)	66~200	480	468	466	U/L
血清尿素窒素(BUN)	8~20	18.8	16.5	18.2	mg/dL
血清クレアチニン(Cr)	0.61~1.04(男性)	0.8	0.6	0.8	mg/dL
血清ナトリウム(Na)	137~145	150	142	138	mmol/L
血清カリウム(K)	3.5~5.0	4.2	4.1	3.8	mmol/L
血清クロール(Cl)	98~108	102	98	98	mmol/L
クレアチンキナーゼ(CK)	57~197(男性)			238	U/L
血糖(BS)	70~109	90	72	148	mg/dL
アンモニア(NH ₃)	40~80	28	24	44	μ g/dL
CRP	0.30未満	0.2	0.5	1.8	mg/dL
HbA1c	6.5	4.3			%
pH	7.36~7.44	—	7.358	—	
PaO ₂	80~100	—	98.8	—	Torr
PaCO ₂	35~45	—	35.5	—	Torr
BE	-2~+2	—	0.1	—	mEq/L
HCO ₃ ⁻	22~26	—	22	—	mEq/L

(基準値は文献2より引用)



ストーマケア記録

No. (1)

ストーマケア記録		
術式	直腸切断術 (Miles手術)、人工肛門造設術	
術後日数	1日目	3日目
ストーマ	サイズ	縦 3.8cm × 横 3.9cm × 高さ 1.4cm
	色	赤色
	浮腫	++
	陥没	なし
	出血	なし
ストーマ周囲の皮膚の状態	発赤	近接部2時方向+
	腫脹	なし
	疼痛	なし
	掻痒感	なし
	皮膚剥離	なし
	出血	なし
	びらん	なし
パウチの種類と使用物品	G社 コロファースト*術直後用	
ストーマ・皮膚の状態(図)		
はがしたパウチの裏の溶け具合(図)		
アセスメント・ケアプラン	正中創側に軽度くぼみあり。滲出液もあり漏れが発生。ストーマはややむくんでいるが出血なく、色調も問題なし。本日は創痛が強く、看護師が口頭で説明し、全介助で実施した。時折、ストーマをのぞく様子があり、「うわー、これ自分でやるんですよね」と話していた。次回からセルフケア指導開始する。	
次回交換予定日	中1日	



入院 8 日目の経過記録

患者氏名: 尾中 剛

病日 / 術後					○/×(月)	○/☆(火)	○/□(水)	○/▼(木)	
T	P(mmHg)	R	SpO ₂	BP	5 / 2				
42	190	50		220					
41	170	45		200					
40	150	40	100	180					
39	130	35	90	160					
38	110	30	80	140					
37	90	25	70	120					
36	70	20	60	100					
35	50	15	50	80					
34	30	10	40	60					
0	0	0	0	0					
尿回数(尿量)					バルーン抜去後 3				
排便回数					ストーマ				
便性状					膿液				
食事内容					夕〜術後食 1				
摂取量(%)					100				
飲水量(日)					100				
疼痛					8 6 4				
疼痛部位					創 創 創				
嘔気					- - -				
嘔吐					- - -				
腸蠕動音					± + ++				
排ガス					+ + +				
創部滲出液の有無					- - -				
創部滲出液の性状					× × ×				
処置・検査					X-P(胸・腹) 胃管抜去 尿道カテーテル抜去 残尿23mL		X-P(胸・腹) ドレーン抜去		体重測定